

【小学校 算数】

算数A (知識) ■「算数A知識」については、改善が重要です。

- 「数と計算」については、概ね定着が図られています。
- 「量と測定」については、改善が必要です。
- 「図形」については、概ね定着が図られています。
- 「数量関係」については、改善が必要です。

課題 ◇ 整数及び小数、分数の四則計算の方法や数の構成、立方体の展開図については、大部分の児童が理解できているが、次のことなどに課題がある。

- ・分数のいろいろな意味を理解すること
- ・円の面積を求めること
- ・角の大きさを求めること
- ・台形の面積を求めること
- ・平行四辺形の作図をすること
- ・割合の意味を理解すること
- ・折れ線グラフを読み取ること

算数B (活用) ■「算数B活用」については、概ね定着が図られています。

- 「数と計算」については、改善が必要です。
- 「量と測定」については、定着が図られています。
- 「図形」については、改善が必要です。
- 「数量関係」については、概ね定着が図られています。

課題 ◇ 複数の円グラフから目的に合うものを選び、必要な情報を読み取ることは、大部分の児童ができているが、次のことなどに課題がある。

- ・示された式を解釈し定価が整数になるおつりの金額を判断すること
- ・与えられた条件や図形の定義、性質を基に、図形を判断し、その理由を選択すること
- ・平行四辺形の説明を解釈し、それを台形に適用して説明を記述すること

学校における学習活動の改善方策例

- 数や量の感覚を豊かにするため、調べたり測ったりする算数的活動を十分に行う。
- 日常生活と関連付けて、式の意味や量の表し方を考えて説明する。
- 面積を求める時に、見通しをもつ。
- 図形を作り、共通点を見つけたり、図形の特徴を説明する。
- 実際に紙で様々な大きさの角を作ってその大きさを調べたり、測ったりする。
- 図を重ねたり観察したりする作業や体験を通して、図形の性質を見出す。
- 問題の場面からテープ図や線分図で数量の関係をとらえる。
- 問題の中から、必要な数値を選び、式に表した意味を説明する。

学校の学習を生かした家庭学習の参考例

- ※ 文章問題から式を作る時には、言葉や図などで考え方を書いてみましょう。
- ※ 答えが問題の意味に合っているか、もう一度確かめて考えましょう。
- ※ 計算をしたり問題を解いて、間違ったときは、解き方を自分の言葉でノートに書きましょう。
- ※ 休みの日などに、小数や分数の計算など、前の学年で習った計算をやって、身に付いているか確かめましょう。